

出産前後の女性のメンタルヘルスに関する研究

准教授 横手 直美
YOKOTE Naomi



生命健康科学部 保健看護学科



「ひこうき」のエクササイズ



母親同士でアロマ・ハンドマッサージ



教材用ブックレット(表紙)



日本では妊婦の5人に1人が帝王切開で子どもを出産しているが、母親に対する出産前準備教育やメンタルケアの不足が課題である。先行研究の成果を統合して、「お産の『もしも』に備えよう～緊急帝王切開について」と称したブックレットとアプリを制作し、周産期センター・総合病院の産科・産科クリニックで、分娩時のトラウマを予防し、妊婦の適応力を高めるための介入研究を実施している。一般の妊婦・母親に対する書籍やネット上での情報提供や、帝王切開に関連した衛生材料の開発協力も行っている。

子育て支援では、乳児の健やかな成長発達を促し、母親のストレスや育児不安を低減させるために、ベビーマッサージ・エクササイズと育児教育を融合した「子育てセミナー」(4回シリーズ)を開催し、心理的效果に加え、身体的効果を検証するために、母子の心拍変動を計測している。また、愛知県助産師会、春日井市民病院と連携してカップルや母子にオンラインセミナーを開催し効果検証を行っている。

【研究テーマ】

- 緊急帝王切開時の妊婦の適応力を高めるための研究
- ベビーマッサージとエクササイズが母子の心身に与える効果
- 産後ケアにおけるショート・エクササイズの活用

(左の写真は参加者の承諾を得て掲載)

キーワード

帝王切開分娩、情報提供、メンタルケア、母子のエクササイズ、産後うつ病

相談に応じられる内容

帝王切開分娩に関する医療製材や関連製品の開発、マタニティ/ベビーに関する教育やエクササイズ・プログラム

独自HP

